



永和中学校体育館を どうしていくのか

石崎 誠子議員

工事に着手出来るようさらに進める
教育部長

問 永和中学校体育館にも、他の中学校と同様に、エアコンを設置する予定はないのか。

答 他の市内中学校に空調設備が整備されたことを踏まえ、改築もしくは大規模改修の実施時期を考慮した上で検討する。

問 永和中学校体育館は、酷い雨漏りと部材が落下する可能性がある危険な状態のままで。本市の公共事業整備基金の残高は、現在約70億円あるが、国からの補助金を活用した上で、永和中学校体育館の改築の財源に、基金を充てることはできないか。

答 具体的な事業の手法や内容の検討結果を踏まえて、具体的な財源確保の方法も検討する。

問 永和中学校の体育館を、どうしていくのか。教育長の考えは。

答 老朽化対策を進める中、永和中学校の体育館を最優先に検討してきた。健全度・耐力度調査で、鉄筋の腐食が進むなど、健全度の点数が低いとの結果を得ている。

今後、教育委員会では、関係部局と調整を図り、学校関係者等の意見を聞きながら、工事に着手できるよう進める。

交通空白地域の 解消を

問 愛西市の地域公共交通のあるべき姿について、横断的な協議は進んでいるのか。また、最終的な方針を定める時期はいつ頃か。

答 明確なスケジュールは決まっていない。各担当課が、新たな公共交通サービスを考え、本市にとって必要なサービスとは何か、あるべき姿について、協議を進める。



▲「のらざあ」の仮想停留所は約8000カ所ある

問 長野県茅野市のAI乗合デマンド交通「のらざあ」などの事例を参考に、バス路線の再編なども含め、交通空白地の解消など、本市でも同様の取組みが必要ではないか。

問 本市では、どのように財源を確保する考えか。

答 財源の確保は重要な課題と認識している。導入すべき具体的な移動手段の検討とあわせて財源についても確認していく。